

# 地域と世界を 知り、未来を あなたらしく表現



Faculty of Art and Regional Design

## 芸術地域 デザイン学部

芸術地域デザイン学科

- ▶ 芸術表現コース
- ▶ 地域デザインコース

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース  
林田 久未子 福岡県 精華学園高等学校久留米校 出身

### 〈学部の特色〉

芸術地域デザイン学部では、芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成を行います。本学部における芸術とは、作品の制作やモノのデザインのことだけを指すわけではなく、美術館や博物館における専門的な仕事や文化財の保護と展示も芸術の範ちゅうに含まれると考えます。現代では、まちづくりや地域おこしを行う自治体、マスコミ・TV局、企業、販売、観光などの場面や職種で、芸術的な視点が求められます。本学部では、そのような場で必要とされる芸術的な手法や感性を磨けます。つまり人やモノを芸術や芸術的な手法によってつなぎ、地域の活性化や国際化などに貢献できる人材を育成します。また、作家、デザイナー、そして教員を志望する人への教育も熱心に行います。本学部で学べる専門分野は、芸術の表現や理論はもちろんですが、歴史、国際関係、考古学、地理学、都市デザイン、異文化コミュニケーションなど人文科学、社会科学のさまざまな分野にわたっています。

### ■ 教育目的

芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能を持ち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とします。

アドミッション  
ポリシーはこちら



### ■ 在学生インタビュー



### 美術を深く広く学び、教師になって 美術の楽しさと可能性を伝えたい

大学では、高校の時よりも深く広い視野で美術を学びたいと思っていました。中でも複数の専門分野を有する佐賀大学の芸術地域デザイン学部なら、様々なことにチャレンジできる環境なのではないかと魅力を感じました。実際、私は日本画を専攻していますが、専攻の異なる学生と広く深く交流することでどんどん視野が広がり、新たな表現にチャレンジする力が身についたと思います。日本画の授業では、日本画材の持つ性質や表現に着目し、タッチや濃淡を試行錯誤しながら制作に励んでいます。制作を重ねるごとに作品に対する観察眼も養われ、作品の細やかな表情を見取ることが得意になったと感じています。将来は、美術の楽しさを伝えられる教師になり、美術の秘める可能性を探究していきたいです。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース  
池田 暁斗 岡山県 総社南高等学校出身

インタビュー動画も  
ご覧いただけます



地域を知り、芸術でつながる  
作品や企画を世界に向けて発信

01 多彩な表現が学べるカリキュラム

1年次は芸術表現と地域デザインの分野を超えたクロス型学習に学生全員で取り組みます。芸術に関わることを幅広く学び、芸術的感性を持つマネジメント人材、マネジメントを理解できる表現者を育てます。2年次より専門分野の実習科目を学びの柱にしていきます。3年次には専門分野を深めながら、有田キャンパスプロジェクトや国内外芸術研修などで、地域社会の中でより実践的なことを行い、専門分野を社会の中に生かす力を養います。



02 芸術で世界をひらく  
～有田キャンパスから世界へ、世界から有田キャンパスへ～

芸術地域デザイン学部は主にドイツ、オランダ、イタリア、アルメニア、リトアニア、韓国、インドネシア等の教育・研究機関と学術・文化交流を実施し、交換留学制度を設けています。特に有田キャンパスでの交換留学プログラムSPACE-ARITAは、ドイツのブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレやオランダのアイントホーフェンデザインアカデミーから交換留学生を多く受け入れています。留学生にとって有田は、400年の歴史に裏打ちされた陶磁器生産技術や文化からインスパイアされる刺激と共に、自身が求めているデザインを実現できる場所となっており、帰国後は有田で制作した作品をミラノデザインウィーク、アンビエンテなどに展示し大きな成果を残しています。この交換留学制度は、留学生の学びの場であると同時に、留学生との交流を通して国外への興味関心に繋げる、本学学生にとっても良い機会となっています。



03 地域創生の実践—表現から文化財の保存まで

地域にある資源をどのように活用すれば地域創生につながるのかを、実際にフィールドワークを行って研究していきます。地域の協力を得て、地域資源を生かした企画を展開し、それらの活動を情報発信する手法も学びます。また、存在を世間に伝えて文化財として保存していく活動など、芸術的観点からの地域創生のための活動を行います。

地域創生フィールドワーク

学生がチームを組み、地域の地理や文化・芸術資源を継続的に調査し、フィールドワークの能力を育成します。



<p><b>興賀神社</b></p> <p>三十六歌仙絵馬の復元模写とそのためのリサーチを、神社、地域と連携のうえ進める。</p>	<p><b>武雄市</b></p> <p>武雄市役所と連携して「文化を起点としたまちづくりデザイン」の企画・運営に取り組む。</p>	<p><b>吉野ヶ里</b></p> <p>吉野ヶ里歴史公園等の文化資源・場所を活かした活動。</p>	<p><b>石橋文化センター</b></p> <p>同センター(福岡県久留米市)内で現役のアーティストとのプロジェクトに取り組む。</p>	<p><b>SAGA ART WEEK</b></p> <p>卒業制作展にあわせ佐賀市内の美術館・ギャラリー等の情報を集約して発信。</p>
---	--	---	---	--

■ 作品紹介

<p><b>日本画</b></p> <p>うたたね。植えたタネ、と歌ったね 紙本彩色 元田乃恵 熊本県 熊本信愛女学院中学校高等学校出身</p>	<p><b>彫刻</b></p> <p>もぎゆつ 材料:FRP 杉吉 亜依奈 福岡県 中村学園女子高等学校出身</p>	<p><b>施設紹介</b></p> <p><b>有田エントランスギャラリー(有田キャンパス)</b> 授業成果や学生たちの自由な制作発表の場として活用され、毎年3月には卒業生・修了生の作品を展示し、地域住民も訪れる開放された空間となっています。</p>
<p><b>コンテンツデザイン</b></p> <p>はぐし水の三重点でピボット インスタレーション、サイズ可変 遠藤 梨夏 福岡県 筑紫丘高等学校出身</p>	<p><b>映像デザイン</b></p> <p>夢裡 シングルチャンネル映像(HD、ステレオ、カラー)、10min 楠田 亜衣乃 佐賀県 佐賀北高等学校出身</p>	<p><b>有田セラミック</b></p> <p>虫の庭 陶器、ろくろ成形、手捻り、書道液(金) スリタ ジョアナ L.S.M International Academy Quito, Ecuador出身(エクアドル)</p>
		<p><b>メディア収録演習室(本庄キャンパス)</b></p> <p>4K撮影スタジオにおいて、合成映像やモーションキャプチャによるバーチャルプロダクションの研究を行っています。</p>



アーティストとして、教職員として  
今の自分を更新していける人になりたい

私は普通高校出身で実技試験に不安を抱えて受験しましたが、学部生、院生ともに染色工芸教室に所属し、制作活動を続けてきました。学生時代は絵画や現代美術の教室にもお邪魔していましたが、先生や友だちは他教室の私を快く受け入れてくれました。この交流で自分の思考パターン(染色的思考)以外の見方や考え方を知ることができ、表現の幅が広がったと思っています。現在は、複数の職場で働きながらアーティストとして作品制作や公募展への出品などを行っていますが、大学時代の幅広い交流が今の自分に繋がっていると感じながら、表現の可能性を模索しているところです。これからも知識・技術的向上を図り、表現の幅を広げ、その先にある「自分」が、社会人として立派になっていることを楽しみに、日々を大切に生きたいと思っています。

佐賀県立致遠館高等学校・佐賀北高等学校 美術非常勤講師  
佐賀女子短期大学 地域みらい学科 アートデザインフィールド 非常勤講師  
就労継続支援B型事業所GENIUS アートコーチ  
津村光璃さん 地域デザイン研究科 地域デザイン専攻 芸術デザインコース 2025年3月修了  
[業務内容]アーティスト活動しながら、非常勤講師やアート特化の支援員としても活動している



詳細情報はこちら



ここでの経験を活かし  
モノや、その魅力を届ける  
仕事に携わりたい

高校でもやきもの制作をしていたため、ものづくりを続けながら自分の好きなことを見つけたいと思い、佐賀大学を選びました。高校の先生からのアドバイスと、自宅から通える点も大きなポイントでした。今は陶磁器制作を中心に取り組んでいます。1年次には染色や日本画など様々な分野を学び、これまでと異なる表現に触れることができました。有田キャンパスでは、近くの窯元の方々と関わることで制作への理解が深まり、先生や友人たちと意見交換をすることで、自分一人では思いつかない視点に気づき、作品の見方や考え方の幅が広がったと感じています。さらに、制作したものをどのように人に見せるか、届けるかといった一歩先まで考えるようになったことは、大学生活での大きな成長だと感じています。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース  
三浦 あかね 佐賀県 有田工業高等学校出身

美術・工芸分野

「手わざ」と「創造思考」を基礎にして、オリジナリティのある表現力を養成します。日本画、西洋画、ドローイング、彫刻、視覚伝達デザイン、漆・木工芸、染色工芸、ミクストメディアから適性に合わせて専門分野を選択し、表現や技術を学びます。描くこと、作ることを通した表現力の養成は、70年以上続く美術・工芸教室の伝統です。

有田セラミック分野

“やきもの”を産業・文化・表現・科学などさまざまな角度からとらえ、伝統的であると同時に革新を伴う時代に強くアピールできるもの作りを探索します。日本における陶磁教育の先駆的役割を果たした有田窯業大学校から移行した国内最高クラスの施設環境の中で、国際的な陶磁教育とセラミック研究により、専門性の高い人材を養成します。

主な進路

〈就職先〉

- 美術家 ●任天堂 ●カプコン ●レベルファイブ ●オリックス ●ハウス食品 ●ゼネラルアサヒ ●トッパングラフィックコミュニケーションズ ●ブレーン ●旭製作所 ●ファディ ●ダイワ化成 ●福岡銀行 ●香蘭社 ●李荘窯業所 ●中川政七商店 ●福博印刷 ●西日本新聞プロダクツ ●トヨタ・コミュニケーション ●Cygames ●旭化成リフォーム ●武田メガネ ●不二貿易 ●柿右衛門窯 ●アサヒシューズ株式会社 ●スチームシップ ●関家具 ●佐賀銀行 ●長崎商工会議所 ●日本芸術文化振興会 ●佐賀県庁 ●薩摩川内市役所 ●佐賀県教育委員会 ●福岡市教育委員会 ●宇城市教育委員会 ●佐賀県内ならびに九州各県の中学校、高等学校、特別支援学校など

〈進学先〉

- 佐賀大学大学院 ●熊本大学大学院 ●宮崎大学大学院 ●秋田公立美術大学大学院

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」				
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
専門教育科目	学部共通科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域デザイン基礎(デザイン、キュレーション、フィールドワーク)</li> <li>●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●芸術文化・地域創生論(国内外地域プロジェクト事例研究)</li> <li>●知的財産権学</li> <li>●地域再生デザイン学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●有田キャンパスプロジェクトI-II(国内外地域フィールドワークI-II)</li> <li>●地域創生フィールドワークI-II</li> <li>●国内外芸術研修</li> </ul>		
	学部共通コア科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デザイン発想論</li> <li>●職業キャリア論</li> <li>●マーケティング論</li> <li>●アートマネジメント</li> <li>●Key Concepts in Art</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタル表現基礎</li> <li>●文化経済論</li> <li>●比較オリエンタリズム研究</li> </ul>			
	基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●芸術表現A(日本画、西洋画、彫刻)</li> <li>●芸術表現B(窯芸、染色工芸、漆・木工芸)</li> <li>●美術史基礎</li> <li>●図法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工芸理論</li> <li>●現代美術概論</li> <li>●ドローイング</li> <li>●アートマーケティング論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デザイン基礎</li> </ul>		
	美術工芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本画Ia・Ib・IIa・IIb</li> <li>●ドローイングIa・Ib・IIa・IIb</li> <li>●彫刻Ia・Ib・IIa・IIb</li> <li>●染色工芸Ia・Ib・IIa・IIb</li> <li>●漆・木工芸Ia・Ib・IIa・IIb</li> <li>●日本画概論</li> <li>●漆・木工芸概論</li> <li>●西洋画基礎</li> <li>●製図</li> <li>●映像デザインI</li> <li>●コミュニケーションデザイン論</li> <li>●コミュニケーションデザイン演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●西洋画Ia・Ib・IIa・IIb</li> <li>●ミクストメディアIa・Ib・IIa・IIb</li> <li>●視覚伝達デザインIa・Ib・IIa・IIb</li> <li>●金工工芸Ia・Ib</li> <li>●彫刻概論</li> <li>●窯芸基礎</li> <li>●染色工芸基礎</li> <li>●コンテンツデザインI</li> <li>●情報デザインI</li> <li>●アートプロデュース演習I</li> <li>●応用木工芸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本画IIIa・IIIb・IIIc・IIId</li> <li>●彫刻IIIa・IIIb・IIIc・IIId</li> <li>●染色工芸IIIa・IIIb・IIIc・IIId</li> <li>●漆・木工芸IIIa・IIIb</li> <li>●西洋画概論</li> <li>●窯芸基礎</li> <li>●彫刻基礎</li> <li>●漆・木工芸基礎</li> <li>●地域ブランディング論</li> <li>●メディアアート論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●西洋画IIIa・IIIb・IIIc・IIId</li> <li>●ドローイングIIIa・IIIb・IIIc・IIId</li> <li>●ミクストメディアIIIa・IIIb・IIIc・IIId</li> <li>●視覚伝達デザインIIIa・IIIb・IIIc・IIId</li> <li>●染色工芸概論</li> <li>●日本画基礎</li> <li>●ドローイング基礎</li> <li>●漆・木工芸基礎</li> <li>●地域ブランディング演習</li> <li>●メディアアート演習</li> </ul>	●卒業研究I・II
有田セラミック	<ul style="list-style-type: none"> <li>●陶磁成形技法I-II</li> <li>●ロクロ成形I-II</li> <li>●石膏型成型特別演習</li> <li>●陶磁特別演習I</li> <li>●釉薬化学概論</li> <li>●装飾技法特別演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●装飾技法I-II</li> <li>●石膏型成型I-II</li> <li>●釉薬化学I</li> <li>●陶磁史</li> <li>●衣食住文化論</li> <li>●食と器</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●陶磁成形技法III</li> <li>●ロクロ成形III</li> <li>●陶磁特別演習II</li> <li>●CAD/CAM I-II</li> <li>●陶磁マーケティング</li> <li>●石膏型成型III</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●陶磁技法特別演習</li> <li>●唐津焼演習</li> <li>●有田産業体験I-II</li> </ul>	●卒業研究I・II	

授業紹介

**芸術表現A(彫刻)**

美術や工芸全体の基本を広く学ぶことを目的としています。Aは日本画や西洋画、彫刻について、Bは染色工芸や窯芸、漆・木工芸について学びます。

**デザイン発想論**

表現全般に関わる幅広い基礎力を育みます。思考法・表現力・創造力を磨き、さまざまなコンテンツの発掘・企画につなげるための基礎を養成します。

**陶磁特別演習I・II**

有田を代表する十四代今泉今右衛門先生や十五代酒井田柿右衛門先生の作品に対する考え方、伝統について話を聞き、自身の作品作りを見つめます。

分野紹介

**西洋画**

富田 俊明 准教授

絵画に限定されないあらゆる表現可能性を追究してきた欧米の美術動向や思想と対話しながら、学生は各自の課題意識を掘り起こし、ふさわしい表現を立ち上げます。

**ミクストメディア**

土屋 貴哉 教授

写真、映像、立体、音、身体など多様なメディアを横断し、素材や技法、形式にとらわれない発想から、空間や社会との関係の中で新しい表現の可能性を探究します。

**ドローイング**

堀 至以 講師

ドローイングと制作分析の反復から自己の創作・表現を探究するとともに、表現が生まれる以前のプロセスを柔軟に扱う力を養います。

**窯芸・装飾成形**

甲斐 広文 准教授

単に技術を学ぶだけでなく、なぜそうするのかを自ら考えながら本質を探っていきます。伝統に学びながら、現代の感性で新たな“ものづくり”を目指します。

教員紹介

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 井川 健 教授<br>漆・木工芸          | 甲斐 広文 准教授<br>窯芸・装飾成形  |
| 近藤 恵介 准教授<br>日本画          | 世利 幸代 准教授<br>視覚伝達デザイン |
| 田中 右紀 教授<br>窯芸            | 土屋 貴哉 教授<br>ミクストメディア  |
| 徳安 和博 教授<br>彫刻            | 富田 俊明 准教授<br>西洋画      |
| 鳥谷 さやか 准教授<br>染色工芸        | 堀 至以 講師<br>ドローイング     |
| 三木 悦子 准教授<br>窯芸・プロダクトデザイン | 湯之原 淳 教授<br>窯芸・造形     |



詳細情報はこちら



文化財の調査や保存に  
楽しみながら  
取り組んでいきたい

興味がある芸術活動や地域創生について、さまざまな視点から幅広く学べると思い、本学部を選びました。地域創生フィールドワークの授業では、「石橋文化センターにおけるキュレーションの実践」クラスで毎年秋に行われているプロジェクトに携わり、貴重な体験をしながらアートプロジェクトや美術館が担う役割について学びを深めることができました。実践的な学びの他にも、分野ごとに精通した教員が多いのも本学部の魅力です。また、数々の活動を通して他者との協働の難しさや楽しさを学び、積極的にコミュニケーションを取れるようになったことは、自分の大きな成長だと感じています。私は人を喜ばせることや役に立つことをしたいので、将来は何らかの形で人の生活に豊かさをもたらす活動や仕事に携わりたいと考えています。

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース  
松丸 奏 福岡県 近畿大学附属福岡高等学校出身

地域コンテンツデザイン分野

デジタルメディアやテクノロジーを効果的に生かして、地域資源をコンテンツ化し芸術やデザインとして提案ができる人材を育成します。デザインの理念や技能と共に、発想力・表現力・企画力・行動力などを伴ってローカル・グローバルを問わず社会に貢献できる力を身に付けます。

キュレーション分野

芸術のみならず、経営、保存科学、歴史学などの知識やスキルを駆使して、地域の遺産や資料を保護・管理したり、それらを活用した企画・運営に携わる人材を養成します。学芸員やキュレーター、ギャラリストなどの養成も目指します。

フィールドデザイン分野

まちづくりなどの地域創生のために国内外で活躍する人材を養成します。地理学、都市デザイン、文化財保護、経営などの知識を生かし、自治体や企業、マスコミなどで活躍する人材の養成にも力を入れます。

主な進路

〈就職先〉

- 岩田屋三越 ●阪急阪神百貨店 ●オカムラ ●九州電力 ●クリークアンドリバー社 ●エム・オー・エム・テクノロジー ●西鉄エージェンシー ●再春館製薬所 ●新日本製薬 ●スチームシップ ●関家具 ●大創産業 ●電通九州 ●東映 ●イースト ●日本赤十字社 ●日本郵便 ●オリックス銀行 ●パルコ ●バンダイナムコ ●モロゾフ ●ユニクロ ●良品計画 ●レベルファイブ ●AOI Pro. ●Cygames ●JR九州エージェンシー ●TYO ●HIS ●西鉄旅行 ●佐賀県 ●福岡市 ●那珂川市 ●久留米市 ●柳川市 ●神崎市 ●小城市 ●伊万里市 ●国税庁(国税専門官) ●福岡出入国在留管理局 ●防衛省九州防衛局 ●カタラーニャバレエ団 ●俳優 ●美術家など
- 一芸芸員・文化財専門職 ●朝倉市(文化財技師) ●太宰府市(文化財技師) ●京都国立博物館(研究補佐員) ●福津市(文化財専門職) ●益城町(学芸員)

〈進学先〉

- 九州大学大学院 ●佐賀大学大学院 ●東京藝術大学大学院 ●慶應義塾大学大学院 ●成城大学大学院 ●大阪大学大学院 ●情報科学芸術大学院大学(IAMAS)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」				
		共通基礎科目「情報リテラシー」				
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
		インターフェース科目				
専門教育科目	学部共通科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域デザイン基礎(デザイン、キュレーション、フィールドワーク)</li> <li>●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸)</li> <li>●デザイン発想論 ●デジタル表現基礎 ●風土と地理学</li> <li>●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●文化経済論</li> <li>●アートマネジメント ●比較オリエンタリズム研究</li> <li>●Key Concepts in Art</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●芸術文化・地域創生論(国内外地域プロジェクト事例研究)</li> <li>●知的財産権学</li> <li>●地域再生デザイン学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学部共通コア科目</li> <li>●有田キャンパスプロジェクトI-II</li> <li>●地域創生フィールドワークI-II</li> <li>●国内外芸術研修</li> </ul>		
	コース基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●博物館概論</li> <li>●ランドスケープ</li> <li>●美術史基礎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域再生論 ●ヘリテージマネジメント論</li> <li>●Intercultural Communication and Art I</li> <li>●地域情報マネジメント演習 ●コミュニティビジネス</li> <li>●フィールドデザイン演習I ●経営・流通演習I</li> <li>●エリアスタディー演習I ●視覚伝達デザインIa, Ib</li> <li>●コンテンツデザインI ●情報デザインI</li> <li>●映像デザインI</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域マネジメント論</li> </ul>		
	映像デザイン		<ul style="list-style-type: none"> <li>●デザインプロジェクト演習 ●地域ブランディング演習</li> <li>●コミュニケーションデザイン論 ●メディアアート論</li> <li>●コミュニケーションデザイン演習 ●メディアアート演習</li> <li>●地域ブランディング論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンテンツデザインII-III ●情報デザインII-III</li> <li>●映像デザインII-III ●インターシップ</li> <li>●メディアプレゼンテーション ●デザイン実践セミナー</li> </ul>		●卒業研究I-II
	キュレーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キュレイティング基礎 ●博物館展示論</li> <li>●博物館資料論 ●博物館学内実習I-II</li> <li>●博物館資料保存論(芸術と倫理を含む)</li> <li>●博物館情報・メディア論 ●博物館教育論</li> <li>●美術史I-II ●美術史演習</li> <li>●工芸理論 ●アートプロデュース論</li> <li>●キュレイティング応用I ●現代美術概論</li> <li>●アートプロデュース演習I-II ●アートマーケティング論</li> <li>●博物館経営論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●博物館学外実習</li> <li>●アートマネジメント特別講義</li> <li>●キュレイティング応用II</li> <li>●ヘリテージサイエンス</li> <li>●インターシップ</li> <li>●美術史III</li> </ul>		●卒業研究I-II	
	フィールドデザイン	●考古学I	<ul style="list-style-type: none"> <li>●考古学II-III ●都市空間論I</li> <li>●考古学演習I-II ●都市・地域空間史</li> <li>●地域史論I-II ●考古学実習I(室内)</li> <li>●陶磁史 ●製図</li> <li>●ヘリテージマネジメント演習 ●アートマーケティング論</li> <li>●文化財の保存と活用</li> <li>●Critical Studies in Language and Image I-II-III</li> <li>●Intercultural Communication and Art II-III</li> <li>●アーカイブズ論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●考古学IV ●地域史論III</li> <li>●古文書解読演習</li> <li>●都市空間論II ●Art in Context</li> <li>●フィールドデザイン演習II</li> <li>●博物館の政治学</li> <li>●エリアスタディー演習II</li> <li>●考古学実習II(野外)</li> <li>●地域史演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域調査分析</li> <li>●地誌学</li> <li>●経営・流通演習II</li> <li>●Art in Context</li> <li>●インターシップ</li> </ul>	●卒業研究I-II

授業紹介

**映像デザイン**

映像言語と時間や空間をデザインする新たな映像表現まで学びます。スキル修得だけでなく、映像による自己の表現方法を模索した作品づくりを目指します。

**Art in Context**

アートと社会の関係を国内外の歴史的遺構や遺物を実現したり、アートプロジェクトの実例を実地で体験することで学び、地域創生に対する意識を高めます。

**博物館実習**

美術品の保存修復や文化財の保護についての理念、法制度のほか、佐賀大学美術館で展示などを学び、キュレーターとしての基礎力を身に付けます。

研究室・ゼミ紹介

**美術史**

吉住 磨子 教授

美術史が対象とするものは、作品や作家のみならず、作品の注文主、受容者、そして、それらを生み出した人々や社会そのものです。美術史ゼミでは、古今東西の作品・資料に触れながら、学生の知的好奇心を刺激し続けていきます。

**地理学**

栗林 賢 准教授

地理学という視点から、地域振興・地域活性化の取り組みや仕組みについて学んでいます。

**博物館学**

藤井 康隆 准教授

ミュージアムと中国考古学を軸に、文化遺産を現代社会に活かす博物館学を探究しています。国内外の調査・見学や、展示研究など、実践的で国際的な学びに取り組みます。

**都市デザイン**

有馬 隆文 教授

人間が快適かつ安全に暮らせる環境を提案するため、都市の成り立ちを理解し人々の活動を読み取り、次世代に継承される都市のデザインを追求していきます。

**4年生の主な卒業研究テーマ**

- 佐賀城下町の水路網の価値とこれからのまちづくりについて
- Z世代の消費行動におけるUGCの影響
- Malaysia-Japan Relationship and a New Era of Look East Policy
- 館種別に見るオリジナルミュージアムグッズの傾向
- 中国江南地方における出土銅鏡の研究—春秋戦国時代の呉越式銅鏡を中心として—
- 日本近代におけるルノワール受容—明治から昭和初期まで—
- 物に宿る記憶を未来へ繋ぐ—手紙みれすの手入れにおける葛藤とコミュニケーションによる記憶の継承—

教員紹介

- 阿部 浩之 准教授 情報デザイン
- 石井 美恵 教授 博物館資料保存
- 重藤 輝行 教授 考古学
- 花田 伸一 教授 アートプロデュース
- 山口 夕妃子 教授 マーケティング
- 吉住 磨子 教授 美術史
- HOUGHTON STEPHANIE ANN 教授 異文化間コミュニケーション
- 有馬 隆文 教授 都市デザイン
- 栗林 賢 准教授 地理学
- 中村 隆敏 教授 映像デザイン
- 藤井 康隆 准教授 博物館学・中国考古学
- 山崎 功 教授 アジア研究・国際関係